

**(仮称) ふるさと遊びの広場
 子ども向け屋内遊戯場
 基本構想の素案が示される**

根室市は「(仮称)ふるさと遊びの広場基本構想(素案)」のパブリックコメントを開始しました。パブリックコメントの意見募集は2月19日(火)までの期間で、「素案」は市のホームページや市役所2階にある総合政策部の窓口、または歯舞支所などで閲覧が可能です。

「中標津の『ゆめの森公園』みたいに大規模でなくても良いから、根室でも子どもを天候に左右されずに広い場所でのびのびと遊ばせたい」…これまで長い間、市民の方々からの要望が大きい施設の建設に関わる問題です。

様々な角度からしっかりと検討が必要だと思いますので、ぜひ多くの市民の方がこの「素案」をご覧頂きながら、意見等を挙げていただきたいと思います。

01 本当に子ども向けの屋内遊戯場を建設すべきか？

私は根室市にとって必要な施設であり、建設すべきと考えます。

問題はそのための財源がどうなっているのかという点です。「素案」では建設に係る概算事業費は、建設工事費2億9,200万円など全体で4億5,610万円、また運用管理コストは年1,364万円(人件費を含む)となっています。

根室市ではこれまで全国から寄せて頂いた「ふるさと応援寄付金」を財源に建設の基金を積み立て、そのための準備をしてきました。ただし、今後この施設の運営経費を将来にわたってどのように維持していくのか、という問題は、管理運営方法を含めてしっかりとした検討が必要です。

なお「素案」では、「サービスの無償提供を基本と考えることから直営方式を基本と考える」、としています。

02 単独施設か、併設施設か？

これは建設する際の運営経費や設置場所にも関わってくる問題です。「素案」では複合化・機能連携を視野に入れた部分は、既存の公園施設内に建設することで、既存の公園と設備を「屋外遊戯スペース」として併用できるとしています。

しかし私は個人的には運営経費の削減のために、将来的に市が総合体育館を建設するのなら、その時に併設(あるいは一体の建物として建設)するのが良いのではないかと考えていました。ただし、目的の異なる施設を合体すれば、当然ながら相互に何らかの制約が生じてきます。また仮に体育館と併設するなら設計も一体で行うため、建設はかなり後年度に先送りになるものと考えられます。

03 設置する場所は？

「素案」では建設候補地として、運動公園の屋外遊具南側の緑地、または明治公園の遊具付き公園の敷地が想定されています。アクセスや公園機能の連携という面では申し分ないと思います。

ただし今回の場所を選定する作業は、既存施設との関係性で評価判断をしているため、例えば体育館のような新たに建設する他の施設との連携は、敷地の面積上相当に難しくなると思います。

04 運営をどうするか？

根室市の直営か、または民間の指定管理等にするか。子ども達の安心安全にかかわる問題であり、またこの施設は教育や子育て支援の場でもあるべきと思います。また配置されるスタッフは単なる「施設管理人」ではなく、保育や教育の専門的知見を有する人材を配置する必要があると考えます。

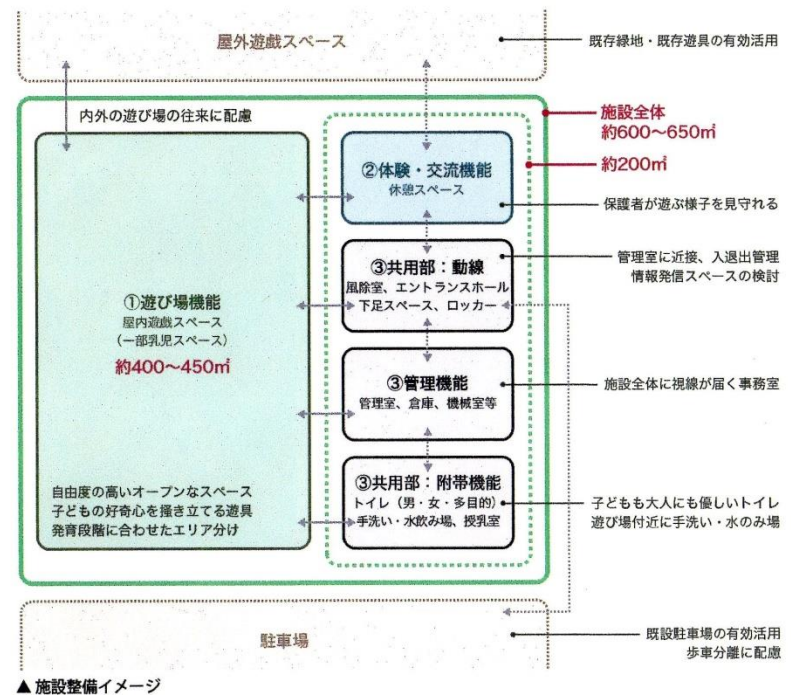
したがって現時点では私も「素案」のとおり市が直営する方式が望ましいと考えます。

05 施設にはどんな機能が必要か？

この部分は「素案」ではざっくりと記載されています。

ところで下図の通り、メインとなる「遊び場機能」は、保育園の屋外遊戯場の国基準にもとづき、子ども一人あたり3.3㎡を想定していますが、「十分かつ適切な広さ」かどうか。例えば計算式では対象人数がきれいに分散して来場することになってはいますが、実際は繁忙する時間帯と閑散する時間帯でどうなるのか。他の先進地の状況などから、もう少し検証が必要かもしれません。

この基本構想のあとは、基本設計・実施設計という流れになっています。



この場所で子ども達がどんな風に遊びたいのか、またこの場所を通じてどんな風に子ども達を育てたいのか。そのためにはどういう施設運用の仕方が良いのか、どんなスペースや遊具を設置するのか。特に子育て世代の市民意見を聞くことや、または市民が相互にディスカッションする場を設置する等しながら、ある程度の方向性を示した上で基本設計を発注することが大切だと思います。

これは時間がかかっても必要な過程だと思います。

私たちとしてもこの問題について、今後ともしっかりと議論しながら、根室の子ども達にとってより良い施設となるよう考えていきたいと思っています。【文責；橋本竜一】

根室市成人式

2019年1月13日

根室市成人式が開催され、今年は247人の方々が新たに成人となりました。

根室市の人口動態の統計によると、今年成人となった方が生まれた1998年度の根室市の出生数は321人でした。それが新聞記事によると昨年9月時点の住民基本台帳の登録で198人に減少しています。

なお2016年度の出生数は170人にまで減っています。

式典のなかで新成人代表の方のあいさつで「若い人たちが戻ってきたくるような根室を築いていきたい」という旨の発言をされておられました。

そのお話を聞きながら、多くの若い方々に本当にそのように思っただけのよう、我々としてもいつまでも安心して暮らし続けられる地域をめざしていきたい。

そして日本全体も将来を担う若い方々が希望をもってくらしにいける社会となるように、政治を良くしていけるよう努力していきたい、と私も決意をあらたにしました。